

② 研究委員の先生に聞きました!

～「分析・整理」のプロセスを重視した授業を実践して～

どのような発見がありましたか?

「分析・整理」のプロセスを重視した授業を実践するためには、「読み解く力」の三つのプロセスをどのように結び付けるかを意識することが欠かせないと気付きました。自分自身の授業を見直し、改善する機会となりました。

授業はどのように変わりましたか?

子どもが相違点や共通点、関係性等に目を向けられるように、「分析・整理」の視点を明確にすることを心がけるようになりました。

子どもが学習のめあてを明確にもち、目的に応じた「発見・蓄積」「分析・整理」をして「再構築」へ向かうことができるよう、「再構築」している子どもの姿を想定し、単元の構成を工夫するようになりました。

単元を通して何を追究するのかを子どもとともに見いだすことを大切にすることができました。

子どもたちにはどのような様子が見られましたか?

友達の考えや思いを比較して聞き、振り返りにつづる姿や、友達の考えや思いを知ることを楽しむ姿が増えました。

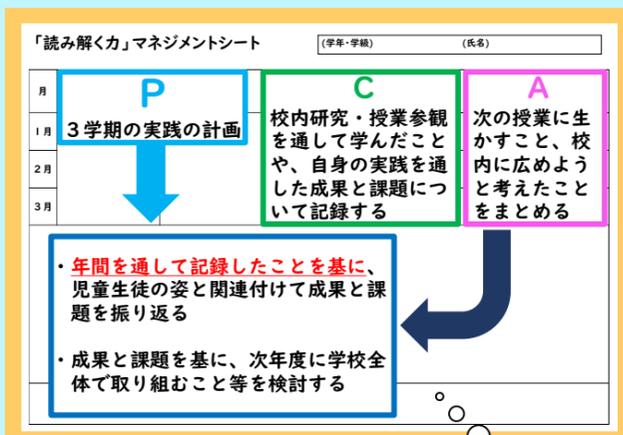
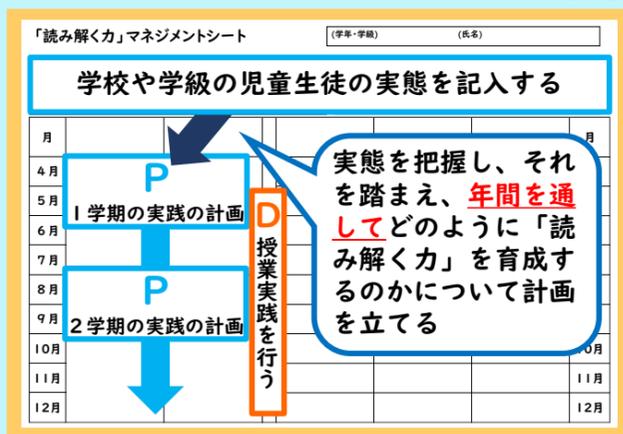
「分析・整理」のプロセスにおける学習活動を重視するとよりよい「再構築」に向かうことを、子どもたち自身が感じています。「分析・整理」のプロセスを重視した学習を積み重ねるほど、子どもが主体的になっているように感じます。

子どもたちの目的意識がより明確になるように授業づくりを行ったことにより、子どもたちの「再構築」している姿が向上したように思います。目的意識がはっきりしていると、子どもたちは「他者の考えとの相違点」から自分の考えを見直そうとして交流するようになりました。

④ 「読み解く力」マネジメントシート

「読み解く力」マネジメントシートのねらい

- ① 学校や学級の児童生徒の実態を把握し、**年間を見通して、計画的に**「読み解く力」を育成する。
- ② 校内研究・授業参観を通して学んだことや、自身の実践を通じた成果と課題を積み重ね、実践に生かすことで、「読み解く力」を育成する**授業づくりのPDCAサイクルの確立**を図る。



ぜひ、ご活用ください!

下記ホームページからダウンロードできます!

「読み解く力」授業づくりに関する研究内容・実践事例はこちら

<https://www.shiga-ec.ed.jp/www/contents/1606442352025/index.html>

滋賀県総合教育センター
「読み解く力」授業づくり関連情報

滋賀県教育委員会「読み解く力」実践事例DVDも併せてご覧ください

「読み解く力」授業づくりサポートリーフレット

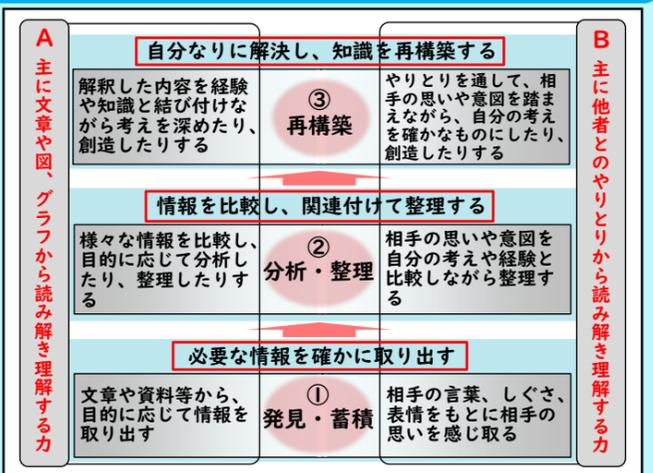
《研究主題》
「読み解く力」の育成に重点を置いた、全ての児童生徒が学びを実感できる授業づくり
～「分析・整理」のプロセスを重視して～



- ### 【内容】
- ① 「読み解く力」について
 - ② 研究委員の先生に聞きました!
～「分析・整理」のプロセスを重視した授業を実践して～
 - ③ 授業実践事例
 - ④ 「読み解く力」マネジメントシート

① 「読み解く力」について

読み解く力イメージ図



「読み解く力」の育成に重点を置いた授業とは?

児童生徒が「読み解く力」を、**高め、発揮**することを通して、**各教科等で目指す資質・能力の育成を図る授業**のことです。指導者は、イメージ図にある二つの側面と三つのプロセスを関連付け、学習展開や手立てのあり方を考えます。

「分析・整理」のプロセスを重視する授業づくりに向けて

「分析・整理」するためには、各教科等における資質・能力をより明確に捉える必要があります。そして、その資質・能力の育成に向けて、「発見・蓄積」したことをどのように「分析・整理」すると、よりよい「再構築」へとつながるのかを具体的に想定することが必然的に求められます。「分析・整理」のプロセスを重視した授業づくりを行うことで、**資質・能力を確かに育成**する学習展開になります。

このリーフレットでは、研修と実践の往還を通して見いだした、

視点 「分析・整理」のプロセスを重視した授業づくりの視点

- 授業づくりのポイント
- 「読み解く力」を、**高め、発揮**する授業づくりのポイント
- 4つの実践事例を基に紹介します。
- 事例1 小学校第3学年社会科の実践
 - 事例2 小学校第5学年算数科の実践
 - 事例3 中学校第1学年国語科の実践
 - 事例4 中学校第3学年外国語科の実践

詳しくは内側の
③ 授業実践事例へ

事例1 小学校第3学年社会科
「安全なくらしを守る」

単元の主な目標
安全なくらしを守るために、従事する人々の働きや相互の関連を知り、自分たちができることを考えることができる

単元の流れ（本時は第⑫時）

| 次 | 時 | 主な学習活動 |
|---|-----|---|
| 1 | ①② | 学習問題「なぜ自分たちが安全に生活できているのか」を設定し、学習計画を立てる。 |
| | ③ | 消防署への見学計画を立てる。 |
| 2 | ④⑤ | 消防署を見学する。 |
| | ⑥⑦⑧ | 見学したことをまとめる。 |
| 3 | ⑨ | 交通安全について学習の見通しをもつ。 |
| | ⑩⑪ | 警察官、スクールガード、市役所の方に聞き取り調査する。 |
| 4 | ⑫ | 聞き取り調査したことをまとめる。 |
| | ⑬⑭⑮ | 学習問題についてまとめ、発表する。 |

本時の目標
聞き取り調査で分かったことを伝え合うことを通して、関係機関や地域の人々の諸活動を捉え、相互の関連、従事する人々の働きや願いを考えることができる

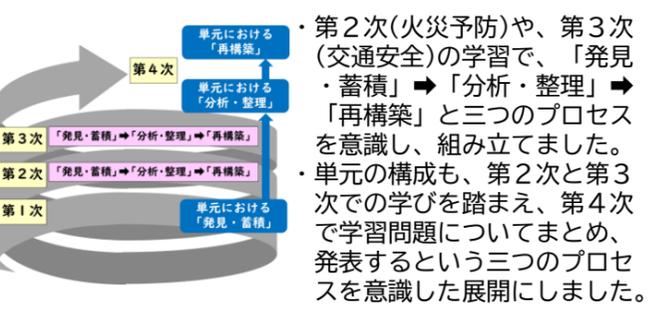
視点 情報を可視化して整理する

聞き取り調査を通して得た情報を付箋にまとめる時間を設けました。その後、ホワイトボードに示された視点に沿って、付箋を移動したり、共通する情報の付箋を重ねて貼ったりする等、情報を可視化して整理できるようにしました。



グループで情報を整理した後に、学習問題に対する自分の考えを一人ですべてまとめる時間を設定したことにより、自身の学びを「再構築」することができました。

授業づくりのポイント 三つのプロセスを循環させる



このような姿につながりました！
関係機関や地域の人々に共通する安全に対する願いや思いについて考えたり、相互に連携していることを理解したりするなど、地域の安全を守る働きについて「再構築」している姿

事例2 小学校第5学年算数科
「平均」

単元の主な目標
平均の意味や求め方を理解し、平均を求めたり、平均を活用して問題を解決したりすることができる

単元の流れ（本時は第③時）

| 時 | 主な学習活動 |
|---|---|
| ① | ・「ならず」ことの意味を理解するために、身の回りの「ならず」場面を想起したり、操作を行ったりする。 ・「平均」の用語とその意味や求め方について理解する。 |
| ② | ・平均の意味や求め方を図や式に表して考え、説明している。 ・求めた平均が小数で表せることを理解する。 |
| ③ | 資料の中に0がある場合の平均を求める。 |
| ④ | 「仮の平均」を使って、平均を求める。 |
| ⑤ | 平均を使って、もとの資料の大きさを求めたり、全体の量を推定したりする。 |
| ⑥ | 平均を使って歩幅を求めたり、歩幅を使っていろいろな場所のおよその長さを測定したりする。 |
| ⑦ | たしかめ問題をする。 |

本時の目標
資料の中に0がある場合に平均を求める際の0の処理の仕方を考え、説明することができる

視点 既存の知識に新たな知識を付け加える

学習課題「0があるときの平均をどのように求めたらよいか」に対する自分の考えをホワイトボードを用いて言葉や式、グラフで表現し、共有できるようにしました。その際、意図的な指名や、考えの根拠を尋ねることで、既存の知識である「ならず」ことや平均の意味と結び付けることができるようにしました。



学習したことを掲示することは、児童にとって、本時の学習と既習事項を比較したり、結び付けたりして考える際の手立てとなります。

授業づくりのポイント 年間を通して積み上げる

・年間を通して、児童が自分の言葉で図式化、言語化する学習活動を積み上げました。
・児童が学びを実感できるように、振り返りの視点を具体的に示し、何を、どのように学んだかを振り返る活動を大切にしました。

このような姿につながりました！
・考えを言語化して比較し、学習課題を様々な角度から捉える姿
・既習事項を根拠として考える姿

学びを実感するためには、単元や本時の目標と対応した振り返りを行うことが重要です。

事例3 中学校第1学年国語科
「少年の日の思い出」

単元の主な目標
場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる

単元の流れ（本時は第⑤時）

| 次 | 時 | 主な学習活動 |
|---|----|--|
| 1 | ① | ・これまでの学習を振り返り、本単元の学習目標をもつ。 ・教材文を通読し、話の展開や内容をつかむ。 |
| | ②③ | ・どのような「アナザーストーリー」をつくりたいかを考え、学習計画を立てる。 ・内容を解釈するために、「問い」を考える。 |
| 2 | ④ | ・内容を解釈し、「問い」について考える。 ・解釈したことを「違う人物」を選んだ者と交流する。 |
| | ⑤ | 解釈したことを「同じ人物」を選んだ者と交流し、再考する。 |
| 3 | ⑥ | 「アナザーストーリー」の下書きをする。 |
| | ⑦ | 下書きを交流し、助言し合う。 |
| 3 | ⑧ | 「アナザーストーリー」を交流し、単元での学びを振り返る。 |

本時の目標
自分がアナザーストーリーを書くために必要な情報を理解し、場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈することができる

視点 やりどりの目的や視点を明確にする

「何のために交流するのか」、「何を交流するのか」、「どのように交流をすれば目的が達成できるのか」等、「分析・整理」する目的や視点を明確にしてから交流する場を設けました。



授業づくりのポイント 生徒とともに学習計画を立てる

単元の最初に学習の目的やゴールを共有し、到達するためには何ができるようにしたらよいか、どのような学習活動が必要かを考え、生徒とともに学習計画を立てる活動を行いました。



このような姿につながりました！
・見通しをもって、目的に応じて粘り強く交流する姿
・場面や描写を結び付けて内容を解釈する姿
・教材文の解釈を学級全体が納得できるよりよいものに変え、知識を「再構築」している姿

学習の過程を生徒と共有する授業づくりを積み重ねることで、どの情報をどのように「分析・整理」すれば問題解決に向かうのかを、生徒が判断できるようになりました。

事例4 中学校第3学年外国語科
「Living with Robots-For or Against」

単元の主な目標
英語によるディベートを通して、相手の意見に応じて自分の考えやその理由を伝え合ったり、意見を書いたりすることができる

単元の流れ（本時は第⑥時）

| 次 | 時 | 主な学習活動 |
|---|----|---|
| 1 | ① | 指導者とALTによる英語での議論を聞いたり、実際に議論を試みたりすることで、単元の目標を理解する。 |
| | ②③ | 教科書の内容を理解するとともに、新出表現について理解し、それらを使って表現できるようにする。 ミニディベート |
| 2 | ④⑤ | 教科書の登場人物について、彼らの立場やその理由を話の論点や根拠に着目しながら読み取る。 |
| | ⑥ | 教科書の題材を基に、ディベートを行う。 We should live with robots. For or against? |
| 3 | ⑦ | 優先席についての英語による議論を聞いて、その内容を理解する。 |
| | ⑧ | ディベートを行う。 We should use printed dictionaries. For or against? |

本時の目標
「ロボットとの暮らし」についての英語によるディベートを通して、相手の意見に応じて自分の考えやその理由を伝え合うことができる

視点 「分析・整理」と「再構築」を繰り返す

より確かな「再構築」へとつなげるために、生徒が「分析・整理」する姿を「相手の意見を、自分の考えやその理由と照らし合わせながら、論点に基づいて整理している姿」と想定しました。内容と表現を「分析・整理」し、「再構築」することを繰り返す学習展開としました。

- Debate I (再構築)
 - 中間交流(分析・整理)
 - Debate II (再構築)
 - 全体Sharing(分析・整理)
 - Writing(再構築)
- 「分析・整理」と「再構築」を繰り返す学習展開

相手の意見に応じて、自分の考えやその理由をまとまりのある英語で伝え合うことを通して、「分析・整理」と「再構築」が繰り返されています。

授業づくりのポイント ディベートの論点を整理し、内容と表現を「分析・整理」する

「Debate I・II (再構築)」では、観察者がディベートのやり取りを聞き、論点を整理して気付いたことを伝えるという「分析・整理」する場を設定しました。「中間交流(分析・整理)」では、「Debate I」で出された意見を共有し、自分の意見の整理と吟味を行い、「Debate II」での再構築につなげました。さらに、「全体Sharing(分析・整理)」を踏まえて、より説得力のある文章にまとめるという「Writing(再構築)」を行いました。



このような姿につながりました！
相手の意見に応じて、自分の考えやその理由により説得力をもたせながら、互いに伝え合う姿